

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	芸術文化課事業調整班			
事業名	ひょうごの芸術文化育成・支援事業（平成23年度～）				連絡先	078-362-3171			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	6,756千円	6,938千円	7,860千円	7,860千円				
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料							
		補助金・交付金	6,756千円	6,938千円	7,860千円	7,860千円			
		貸付金							
		その他需用費等							
	（財源内訳）	（国庫支出金）							
		（県債）							
		（その他[芸術文化振興基金]）	(6,756千円)	(6,938千円)	(7,860千円)	(7,860千円)			
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人			
			2,633千円	2,713千円	2,663千円	2,673千円			
		職員給与費 a	2,318千円	2,353千円	2,303千円	2,313千円			
		賞与引当金繰入額 b	137千円	164千円	164千円	164千円			
退職手当引当金繰入額 c		178千円	196千円	196千円	196千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人				
		9,389千円	9,651千円	10,523千円	10,533千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		補助件数（地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)）	目標	103	107	111	115	115件	
		実績（見込）	88	85	(92)	(115)	【31年度】		
		（単位当たりコスト）	(107千円)	(114千円)	(114千円)	(92千円)	/		
		[うち事業拡大分]							
		達成率（見込）	85.4%	79.4%	(82.9%)	(100.0%)			
	鑑賞者数 ※きっかけづくり応援事業除く	目標	47,000	47,000	47,000	47,000	47,000人		
		実績（見込）	38,929	33,543	(40,512)	(47,000)			
		（単位当たりコスト）	(0千円)	(0千円)	(0.3千円)	(0千円)	/		
		[うち事業拡大分]							
	達成率（見込）	82.8%	71.4%	(86.2%)	(100.0%)				
評価	<p>・ 県内の芸術文化活動のすそ野を広げ、芸術文化に親しむ機会や場を充実させるため、県内芸術家の芸術活動や地域で気軽に芸術文化にふれる機会を提供する事業に支援を行う。</p> <p>・ 支出内容が明確な会場費（公演、展示事業）、印刷費（出版事業）を補助対象経費として定額を補助することで効率的な事業実施を図るとともに、出演費を補助対象経費とするものについては、上限を設けて補助することで、効率的な事業実施を図っている。</p> <p>・ 補助件数の増加を図るため、補助対象となる団体等に制度の案内を行う一方、特に活用が見込まれる対象者やその関係者に対し直接広報を行った。今後も制度の活用が見込まれる対象者を中心に、継続的に周知・広報を図っていく。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	芸術文化課事業調整班			
事業名	県民芸術劇場の開催（平成3年度～）				連絡先	078-362-3171			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	36,488千円		36,488千円		50,738千円		36,785千円	
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料							
		補助金・交付金	36,488千円		36,488千円		50,738千円		36,785千円
		貸付金							
		その他需用費等							
	（財源内訳）	（国庫支出金）							
		（県債）							
		（その他〔芸術文化振興基金等〕）	(36,488千円)		(36,488千円)		(50,738千円)		(36,785千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人
			878千円		905千円		887千円		891千円
		職員給与費 a	773千円		785千円		767千円		771千円
		賞与引当金繰入額 b	46千円		55千円		55千円		55千円
退職手当引当金繰入額 c		59千円		65千円		65千円		65千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人	
		37,366千円		37,393千円		51,625千円		37,676千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[14,250千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		県民芸術劇場の公演数	目標	110	110	129	110	110	
		実績（見込）	110	112	(135)	(110)			
		（単位当たりコスト）	(340千円)	(334千円)	(382千円)	(343千円)			
		[うち事業拡大分]			[106千円]				
		達成率（見込）	100.0%	101.8%	(104.7%)	(100.0%)			
	県民芸術劇場の鑑賞者数 （21世紀兵庫長期ビジョン フォローアップ指標） ※県民文化普及事業との 合算	目標	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000		
		実績（見込）	93,132	92,676	(120,000)	(120,000)			
		（単位当たりコスト）	(0.4千円)	(0.4千円)	(0.4千円)	(0.3千円)			
		[うち事業拡大分]			[0.1千円]				
	達成率（見込）	77.6%	77.2%	100.0%	100.0%				
評価	<p>・都市部に偏りがちな舞台芸術公演について、県内各地での鑑賞の機会を提供するとともに、県内の公立文化施設等の活性化も図るため支援が必要である。芸術文化の振興のため、県内の芸術文化団体の活動を活性化し、育成する必要がある。各地に芸術文化団体等を派遣することにより、県民が身近で優れた舞台芸術の鑑賞と参加・体験する機会を享受できている。</p> <p>・補助対象額となる公演単価については、前々年度実績額平均に基づき設定しているが、その際、全国団体の基準公演単価も参考に、適正な出演料の設定を行っている。</p> <p>・公演数は達成しているが、児童・生徒数の減少等により鑑賞者数は目標を下回っている。今後も市町等との連携を図りながら、より多くの県民が優れた舞台芸術を鑑賞、参加・体験できる機会を提供していく。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」	所管課班	芸術文化課企画運営班
事業名	芸術文化センター創造・公演事業（平成17年度～）	連絡先	078-362-3146

事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額
	事業費①		391,922 千円	439,127 千円	400,000 千円
経費内訳	報酬・賃金				
	委託料				
	補助金・交付金	391,922 千円	439,127 千円	400,000 千円	390,100 千円
	貸付金				
	その他需用費等				
（財源内訳）	（国庫支出金）	(11,922千円)	(19,127千円)	(20,000千円)	(10,100千円)
	（県債）				
	（その他[宝くじ収益金、事業収入]）	(380,000千円)	(420,000千円)	(380,000千円)	(380,000千円)
	（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
人件費②（a+b+c）	従事人員	12.0人	12.0人	12.0人	12.0人
		105,288 千円	108,444 千円	106,452 千円	106,848 千円
	職員給与費 a	92,712 千円	94,092 千円	92,100 千円	92,496 千円
	賞与引当金繰入額 b	5,460 千円	6,540 千円	6,540 千円	6,540 千円
	退職手当引当金繰入額 c	7,116 千円	7,812 千円	7,812 千円	7,812 千円
総コスト（①+②）	従事人員	12.0人	12.0人	12.0人	12.0人
		497,210 千円	547,571 千円	506,452 千円	496,948 千円
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]

事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
	芸術文化センター自主公演入館者数（長期ビジョン推進方策フォローアップ指標）	目 標		300,000	300,000	300,000	300,000
実績（見込）			353,296	382,668	(300,000)	(300,000)	
（単位当たりコスト）			(1 千円)	(1 千円)	(2 千円)	(2 千円)	
[うち事業拡大分]							
年間ホール稼働日数（～H29事務事業評価指標）	目 標		200	200	200	200	200
	実績（見込）		302	334	(333)	(326)	
	（単位当たりコスト）		(1,646 千円)	(1,639 千円)	(1,521 千円)	(1,524 千円)	
	[うち事業拡大分]						
達成率（見込）		151.0%	167.0%	(166.5%)	(163.0%)		

・ 県民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するために必要な事業である。本格的な舞台芸術専門劇場としての評価が観客及び国内外の芸術家にも定着しており、文化芸術振興の拠点となっている。
 ・ H29年度は県内巡回オペラの実施や新国立劇場との連携公演事業の充実により、例年に比べ総コストが高くなっているが、1単位あたりのコストはほぼ例年並みである。
 ・ 目標値を大幅に超える公演を実施しており、芸術文化の普及・振興と、地域の活性化に寄与するとともに、今後も継続して目標達成が期待できる。

3年目の見直し

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	芸術文化課企画運営班			
事業名	兵庫陶芸美術館企画・展覧会の実施(平成17年度～)				連絡先	078-362-3146			
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	85,000 千円	85,000 千円	85,000 千円	85,000 千円				
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料	85,000 千円	85,000 千円	85,000 千円	85,000 千円			
		補助金・交付金							
		貸付金							
		その他需用費等	0 千円	0 千円					
	(財源内訳)	(国庫支出金)							
		(県債)							
		(その他[観覧料等事業収入、宝くじ等])	(56,624千円)	(56,571千円)	(85,000千円)	(60,000千円)			
		(一般財源)	(28,376千円)	(28,429千円)	(0千円)	(25,000千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	8.6人	8.6人	8.6人	8.6人			
			75,457 千円	77,719 千円	76,291 千円	76,575 千円			
		職員給与費 a	66,444 千円	67,433 千円	66,005 千円	66,289 千円			
賞与引当金繰入額 b		3,913 千円	4,687 千円	4,687 千円	4,687 千円				
退職手当引当金繰入額 c		5,100 千円	5,599 千円	5,599 千円	5,599 千円				
総コスト (①+②)	従事人員	8.6人	8.6人	8.6人	8.6人				
		160,457 千円	162,719 千円	161,291 千円	161,575 千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		目 標	140,000	150,000	150,000	150,000	150,000		
	施設内入場者数 (地域創生戦略事業進捗指標)	実績(見込)	101,857	112,589	(100,000)	(150,000)	/		
		(単位当たりコスト)	(2 千円)	(1 千円)	(2 千円)	(1 千円)			
		[うち事業拡大分]							
		達成率(見込)	72.8%	75.1%	(66.7%)	(100.0%)			
	出前授業、展覧会鑑賞学習等の実施校数 (長期ビジョン推進方策フォローアップ指標)	目 標	60	60	60	60	60		
		実績(見込)	39	37	(39)	(60)	/		
		(単位当たりコスト)	(4,114 千円)	(4,398 千円)	(4,136 千円)	(2,693 千円)			
		[うち事業拡大分]							
達成率(見込)	65.0%	61.7%	(65.0%)	(100.0%)					
評価	<p>・丹波焼をはじめとする陶磁器産地を有する県として、陶芸文化の振興・普及を図るため、県民に陶芸作品を身近に鑑賞する機会を提供することが必要である。</p> <p>・29年度は展覧会入場者は増加したものの、陶器まつりの台風による一部中止や厳冬等の影響により全体としての入場者数は目標に達しなかった。引き続き魅力的な展覧会を開催するとともに、丹波焼の日本遺産認定を追い風にPRを進め、イベント内容の充実を図り入館者増を目指す。</p> <p>・学校との連携については、さまざまな機会を通じて学校へのPRを進め回数増加を目指す。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	芸術文化課企画運営班			
事業名	横尾忠則現代美術館企画・展覧会の実施（平成24年度～）				連絡先	078-362-3146			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[宝くじ収益金]等）	(5,000千円)	(5,000千円)	(21,000千円)	(5,000千円)			
		（一般財源）	(19,000千円)	(19,000千円)	(3,000千円)	(19,000千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	6.1人	6.1人	6.1人	6.1人			
			53,522千円	55,126千円	54,114千円	54,315千円			
		職員給与費 a	47,129千円	47,830千円	46,818千円	47,019千円			
		賞与引当金繰入額 b	2,776千円	3,325千円	3,325千円	3,325千円			
退職手当引当金繰入額 c		3,617千円	3,971千円	3,971千円	3,971千円				
総コスト（①+②）	従事人員	6.1人	6.1人	6.1人	6.1人				
		77,522千円	79,126千円	78,114千円	78,315千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		横尾忠則現代美術館入館者数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）、全県ビジョン推進方策フォローアップ指標）	目標	70,000人	70,000人	70,000人	70,000人		
	実績（見込）	38,325人	51,916人	(70,000人)	(70,000人)				
	（単位当たりコスト）	(2千円)	(2千円)	(1千円)	(1千円)				
	[うち事業拡大分]								
	達成率（見込）	54.8%	74.2%	(100.0%)	(100.0%)				
	展覧会関連事業開催回数	目標	16回	16回	16回	16回			
		実績（見込）	17回	11回	24回	(16回)			
	（単位当たりコスト）	(4,560千円)	(7,193千円)	(3,255千円)	(4,895千円)				
	[うち事業拡大分]								
達成率（見込）	106.3%	68.8%	(150.0%)	(100.0%)					
評価	<p>・横尾忠則氏から寄贈・寄託を受けた貴重な美術品や資料を適切に保存・展示し、県民に優れた作品の鑑賞機会を提供する必要がある。作品の展示により現代美術の鑑賞者・愛好家のすそ野の拡大に寄与している。</p> <p>・事業コストは、ほぼ平準化してきており、今後は入館者数を目標に近づけることによりコスト低下を図る。なお、事業実施にあたっては、各種助成金を確保している。</p> <p>・平成28年度の隣接ギャラリー耐震化工事や、29年度の台風の被害による改修工事のための休館が影響し、入館者数は目標に達していないが、魅力ある展覧会の企画に努めており、年々目標値に近づきつつある。展覧会関連事業についても、横尾氏本人による公開制作等や親交の深いアーティストによるイベントを引き続き開催し、事業内容の充実を図る。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	芸術文化課事業調整班			
事業名	子ども伝統文化わくわく体験教室（平成27年度～）			連絡先	078-362-3171			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	5,608千円	5,994千円	8,400千円	8,400千円			
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料						
		補助金・交付金	5,608千円	5,994千円	8,400千円	8,400千円		
		貸付金						
		その他需用費等						
	（財源内訳）	（国庫支出金）						
		（県債）						
		（その他[芸術文化振興基金]）	(5,608千円)	(5,994千円)	(8,400千円)	(8,400千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人		
			2,633千円	2,713千円	2,663千円	2,673千円		
		職員給与費 a	2,318千円	2,353千円	2,303千円	2,313千円		
		賞与引当金繰入額 b	137千円	164千円	164千円	164千円		
退職手当引当金繰入額 c		178千円	196千円	196千円	196千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人			
		8,241千円	8,707千円	11,063千円	11,073千円			
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[2,120千円]	[2,120千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		子ども伝統文化わくわく体験教室実施校数	目標	45	45	60	60	60
	（地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）、21世紀兵庫長期ビジョンフォロアップ指標）	実績（見込）		46	48	(61)	(60)	
		（単位当たりコスト）		(179千円)	(181千円)	(181千円)	(185千円)	
		〔うち事業拡大分〕				[35千円]	[35千円]	
		達成率（見込）		102.2%	106.7%	(101.7%)	(100.0%)	
	子ども伝統文化わくわく体験教室開催回数	目標		112	112	150	150	150
		実績（見込）		115	108	(147)	(150)	
	〔うち事業拡大分〕	（単位当たりコスト）		(72千円)	(81千円)	(75千円)	(74千円)	
		〔うち事業拡大分〕				[14千円]	[14千円]	
達成率（見込）			102.7%	96.4%	(98.0%)	(100.0%)		
評価	<p>・次代の日本の伝統文化を担う人材を確保し、伝統文化を学ぶことを通じて、心の豊かさや生活の潤いを育む機会を提供するために、小・中・高校内で複数回（2回または3回）実施する伝統文化の体験事業への補助が必要である。体験事業に必要な経費の一部を支援することで、学校及び県域文化団体による伝統文化を体験する事業の継続的な実施へつなげていく。</p> <p>・事業を段階的に発展させていくために、4年目となった30年度からは、実施校数を60校に拡大した。応募校数は多く、実施校数の目標は達成しているが、学校の行事計画等の関係で2回開催の希望が多く、開催回数の目標は達成できていない。今後とも事業の周知を図り、県域文化団体が実施する、学校における子どもを対象にした伝統文化の体験事業を支援することにより、伝統文化を学ぶことを通じて、心の豊かさや生活の潤いを育む機会を提供するとともに、次代の日本の伝統文化を担う人材の確保に努める。</p>							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	芸術文化課事業調整班			
事業名	ひょうごの文化発信リーディング事業（平成31年度～）			連絡先	078-362-3171			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	—	—	—	16,190 千円			
	経費内訳	報酬・賃金				987 千円		
		委託料						
		補助金・交付金				15,000 千円		
		貸付金						
		その他需用費等				203 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)						
		(県債)						
		(その他[芸術文化振興基金])				(16,190千円)		
		(一般財源)				(0千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員 0.3人
			—	—	—	2,673 千円		
	職員給与費 a					2,313 千円		
		賞与引当金繰入額 b				164 千円		
退職手当引当金繰入額 c					196 千円			
総コスト (①+②)	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員 0.3人	
					18,863 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	リーディング事業補助件数	目標				12	12	
		実績(見込)				(12)		
		(単位当たりコスト)				(1,572 千円)		
		[うち事業拡大分]						
達成率(見込)					(100.0%)			
評価	国内外から注目を浴びる機会である「ゴールデンスポーツイヤーズ」の開催に合わせ、本県の分厚い文化力を県内外へ積極的に情報発信するとともに、次世代に誇れるレガシーを創出するため、そのモデルとなるような活動を行う団体を支援する。この取組みが県内の芸術文化団体に波及し、県内の文化活動がより活性化し好循環を生み出すことが期待できる。							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	ユニバーサル支援課社会参加支援班					
事業名	障害者スポーツ推進プロジェクト（平成27年度～）		連絡先	078-362-3237					
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	34,282 千円	40,050 千円	39,903 千円	40,935 千円				
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料	31,283 千円	37,050 千円	36,903 千円	37,935 千円			
		補助金・交付金							
		貸付金							
		その他需用費等	2,999 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）		(10,518千円)	(11,754千円)	(11,617千円)			
		（県債）							
		（その他[地域創生基金]）			(11,756千円)	(11,617千円)			
		（一般財源）	(34,282千円)	(29,532千円)	(16,393千円)	(17,701千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人
			4,387 千円	4,519 千円	4,436 千円	4,452 千円			
		職員給与費 a	3,863 千円	3,921 千円	3,838 千円	3,854 千円			
		賞与引当金繰入額 b	228 千円	273 千円	273 千円	273 千円			
退職手当引当金繰入額 c		297 千円	326 千円	326 千円	326 千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	
		38,669 千円	44,569 千円	44,339 千円	45,387 千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[6,220千円]	[3,983千円]	[1,095千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		全領域の障害者スポーツ大会参加選手の増加（兵庫県スポーツ推進計画）	目標	12,000	12,600	27,000	28,000	30,000	
		実績（見込）	18,323	26,882	(27,000)	(28,000)	【2021年度】		
		（単位当たりコスト）	(2 千円)	(2 千円)	(2 千円)	(2 千円)			
		[うち事業拡大分]		[0.23千円]	[0.15千円]	[0.04千円]			
		達成率（見込）	152.7%	213.3%	(100.0%)	(100.0%)			
	パラリンピック選手発掘・普及啓発事業参加者数（地域創生戦略アクションプラン）	目標	350	1,300	1,300	1,300	-		
		実績（見込）	1,261	1,022	(1,300)	(1,300)			
		（単位当たりコスト）	(31 千円)	(44 千円)	(34 千円)	(35 千円)			
		[うち事業拡大分]		[6.1千円]	[3.1千円]	[0.8千円]			
	達成率（見込）	360.3%	78.6%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・東京2020パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向け、県内障害者スポーツアスリートの発掘や育成・強化、障害者スポーツに関する啓発、環境整備等を推進している。</p> <p>・指標の「全領域の障害者スポーツ大会参加選手の増加」は、障害者スポーツ推進プロジェクトを発足した平成27年度から実績値が目標を上回り、差が大きくなっていることから、平成30年度から目標値を上方修正した。</p> <p>・ワールドマスターズを契機とした障害者スポーツの裾野拡大やアスリートの発掘・育成への取り組みがさらに必要であり、平成29年度はスーパーアスリートへの特別強化支援、平成30年度は一般スポーツ団体との交流、平成31年度は記念プレ大会を開催するなど事業を拡大している。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	労政福祉課勤労者福祉班			
事業名	ひょうご仕事と生活センター事業		連絡先	078-362-3362			
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	192,764 千円	147,058 千円	178,297 千円	193,731 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		委託料	139,503 千円	113,478 千円	118,297 千円	133,731 千円	
		補助金・交付金	52,261 千円	32,858 千円	58,000 千円	58,000 千円	
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他需用費等	1,000 千円	722 千円	2,000 千円	2,000 千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(40,000千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(その他[法人県民税超過課税])	(152,764千円)	(147,058千円)	(178,297千円)	(193,731千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	1.1人	1.1人	1.1人	1.1人	
			9,650 千円	9,940 千円	9,757 千円	9,793 千円	
		職員給与費 a	8,498 千円	8,625 千円	8,442 千円	8,478 千円	
		賞与引当金繰入額 b	500 千円	599 千円	599 千円	599 千円	
退職手当引当金繰入額 c		652 千円	716 千円	716 千円	716 千円		
総コスト (①+②)	従事人員	1.1人	1.1人	1.1人	1.1人		
		202,414 千円	156,998 千円	188,054 千円	203,524 千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[15,000千円]	[14,373千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
		研修実施企業数 (地域創生戦略事業KPI)	目 標	200	200	200	200
		実績(見込)	219	185	(160)	(200)	
		(単位当たりコスト)	(924 千円)	(849 千円)	(1,175 千円)	(1,018 千円)	
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[60千円]	[72千円]	
		達成率(見込)	109.5%	92.5%	(80.0%)	(100.0%)	
	仕事と生活の調和推進企業宣言数 (地域創生戦略総括KPI)	目 標	100	200	200	200	200
		実績(見込)	286	245	(250)	(200)	
		(単位当たりコスト)	(708 千円)	(641 千円)	(752 千円)	(1,018 千円)	
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[60千円]	[72千円]	
	達成率(見込)	286.0%	122.5%	(125.0%)	(100.0%)		
評価	<p>・生活・健康の不安に繋がる働き方や生産年齢人口の減少等、仕事と生活を取り巻く課題を解決し、もって地域社会の活性化を図るため、仕事と生活の調和(WLB)の実現を推進するための各種事業を実施することで、誰もが意欲と能力に応じた働き方を主体的に選択できる雇用就業環境の整備や、多様な人材の活躍と生産性向上により企業価値を高めていくことが必要である。</p> <p>・WLBに関する研修実施数は若干減少傾向にあるものの、80%以上の達成率となっている。これと合わせ、普及啓発・情報発信事業等を実施した結果、WLBに取り組むことを内外に宣言した宣言企業数は、目標値を上方修正した平成29年度以降も目標を達成。宣言企業数累計は年々増加し、年度末には1,900社を超える見込みであり、1社当たりのコストは減少傾向の中、効果的な事業実施が図られている。</p> <p>・平成31年度は、阪神・姫路地域にランチを開設し、さらなる取組拡大と高度化支援を図る。</p>						
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系		充実する「自分時間」		所管課班		労政福祉課勤労者福祉班				
事業名		中小企業育児・介護等離職者雇用助成事業		連絡先		078-362-3362				
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額		
	事業費①	6,600 千円		3,600 千円		45,000 千円		46,500 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	6,600 千円		3,600 千円		45,000 千円		46,500 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他需用費等	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[法人県民税超過課税])	(6,600千円)		(3,600千円)		(45,000千円)		(46,500千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.2人		0.2人		0.2人		0.2人	
			1,754 千円		1,807 千円		1,774 千円		1,780 千円	
		職員給与費 a	1,545 千円		1,568 千円		1,535 千円		1,541 千円	
		賞与引当金繰入額 b	91 千円		109 千円		109 千円		109 千円	
退職手当引当金繰入額 c		118 千円		130 千円		130 千円		130 千円		
総コスト (①+②)	従事人員	0.2人		0.2人		0.2人		0.2人		
		8,354 千円		5,407 千円		46,774 千円		48,280 千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[1,500千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】			
		助成金支給件数 (地域創生戦略事業KPI)	目 標	250	105	105	105	105		
		実績 (見込)	25	11	(25)	(105)				
		(単位当たりコスト)	(334 千円)	(492 千円)	(1,871 千円)	(460 千円)				
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[14千円]				
		達成率(見込)	10.0%	10.5%	(23.8%)	(100.0%)				
	女性(30~39歳)の有業率 (地域創生戦略総括KPI) ※5年ごと調査	目 標	—	64.0	—	—	64.0			
		実績 (見込)	—	70.2	—	—				
		(単位当たりコスト)	—	(77 千円)	—	—				
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
	達成率(見込)	—	109.7%	—	—					
評価	<p>・ 少子高齢化や人口減少が急速に進展する中、誰もが意欲と能力に応じて就業を継続することができるよう、結婚・出産・育児・介護等による離職者の再就職を促進することが必要である。</p> <p>・ 平成29年度は単位当たりコストが上がっているが、これはインセンティブ強化のため支給単価を増額したためである(28年度：正社員及び短時間勤務正社員300千円、非正社員150千円→29年度：正社員500千円、短時間勤務正社員400千円、非正社員200千円)。</p> <p>・ 支給件数は、平成28、29年度は目標の約10%に留まったが、平成30年度は20%超となる見込み。次年度は非正社員での雇用について、従来のアルバイト非正社員に加え、社会保険被保険者であるアルバイト以外の非正社員まで助成対象を広げることにより、一層の活用を図る。</p> <p>・ 女性(30~39歳)の有業率は、前回調査(平成24年 60.6%)に比べ+約10%となっており、当助成金の主な対象である女性の就業は前進している。</p>									
3年目の見直し	—									

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	労政福祉課勤労者福祉班			
事業名	中小企業育児・介護代替要員確保支援事業			連絡先	078-362-3362			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	89,593千円	72,593千円	200,000千円	200,000千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	89,593千円	72,593千円	200,000千円	200,000千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
		(財源内訳)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	(その他[法人県民税超過課税])	(89,593千円)	(72,593千円)	(200,000千円)	(200,000千円)			
	(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人		
			1,754千円	1,807千円	1,774千円	1,780千円		
		職員給与費 a	1,545千円	1,568千円	1,535千円	1,541千円		
賞与引当金繰入額 b		91千円	109千円	109千円	109千円			
退職手当引当金繰入額 c		118千円	130千円	130千円	130千円			
総コスト (①+②)	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人			
		91,347千円	74,400千円	201,774千円	201,780千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		助成金支給件数 (地域創生戦略事業KPI)	目標	100	100	200	200	200
		実績(見込)	109	96	(106)	(200)		
		(単位当たりコスト)	(838千円)	(775千円)	(1,904千円)	(1,009千円)		
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
		達成率(見込)	109.0%	96.0%	(53.0%)	(100.0%)		
	女性(30~39歳)の有業率 (地域創生戦略総括KPI) ※5年ごと調査	目標	-	64.0	-	-	64.0	
		実績(見込)	-	70.2	-	-		
		(単位当たりコスト)	-	(1,060千円)	-	-		
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
	達成率(見込)	-	109.7%	-	-			
評価	<p>・ 少子高齢化や人口減少が急速に進展する中、育児・介護を担うライフステージにあっても、誰もが意欲と能力に応じて就業を継続することができるよう、育児・介護休業制度及び短時間勤務制度の利用を促進し、育児・介護による離職を防止することが必要である。</p> <p>・ 支給件数は、目標を見直した平成30年度は約50%の達成率に留まる見込み。次年度は、一層の広報に努め利用促進を図る。</p> <p>・ 女性(30~39歳)の有業率は、前回調査(平成24年 60.6%)に比べ+約10%となっており、当助成金の主な対象である女性の就業は前進している。</p>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班				
事業名	楽農学校事業（平成16年度～）		連絡先	078-362-9198				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	13,927千円	13,923千円	14,260千円	15,021千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	13,927千円	13,923千円	14,260千円	15,021千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(8,295千円)	(8,958千円)	(9,126千円)	(2,718千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他〔地域創生基金〕）	(0千円)	(0千円)	(1,765千円)	(1,653千円)		
		（一般財源）	(5,632千円)	(4,965千円)	(3,369千円)	(10,650千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.8人	1.8人	1.8人	1.8人		
			15,793千円	16,267千円	15,968千円	16,027千円		
		職員給与費 a	13,907千円	14,114千円	13,815千円	13,874千円		
		賞与引当金繰入額 b	819千円	981千円	981千円	981千円		
退職手当引当金繰入額 c		1,067千円	1,172千円	1,172千円	1,172千円			
総コスト（①+②）	従事人員	1.8人	1.8人	1.8人	1.8人			
		29,720千円	30,190千円	30,228千円	31,048千円			
	〔うち事業拡大分〕	—	—	—	〔986千円〕			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		楽農生活交流人口(万人)	目標	1,130	1,135	1,140	1,145	1,200
	(ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	実績(見込)		1,118	1,187	(1,140)	(1,145)	【37年度】
		(単位当たりコスト)		(27千円)	(25千円)	(27千円)	(27千円)	/
		〔うち事業拡大分〕		—	—	—	[1千円]	
		達成率(見込)		98.9%	104.6%	(100.0%)	(100.0%)	
	楽農学校就農コースを修了した新規就農者数(人)(事業実施計画数)	目標		20	20	20	20	20
		実績(見込)		12	18	(20)	(20)	【毎年度】
		(単位当たりコスト)		(2,477千円)	(1,677千円)	(1,511千円)	(1,552千円)	/
〔うち事業拡大分〕			—	—	—	[49千円]		
達成率(見込)		60.0%	90.0%	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>・県民が暮らしの中で「食」と「農」に親しみ、収穫の喜びや自然とのふれあいを通じて、ゆとりとやすらぎを実感できる「楽農生活」を推進するため、全県拠点である兵庫楽農生活センターにおいて、基礎的な栽培技術の習得から本格的な就農まで多様なニーズに応じた講座を実施することが必要である。</p> <p>・平成29年度の楽農生活交流人口は目標値を大きく上回っており、楽農生活実践者の裾野の拡大が進んでいる。</p> <p>・平成29年度の楽農学校就農コースを修了した新規就農者数は目標値の90%に至っており、次代の担い手育成に大きく貢献している。なお、31年度からは新たな農業技術等に対応したカリキュラムの充実を行う予定である。</p> <p>・単位当たりコストも概ね一定であり、効率的かつ効果的な事業執行に取り組んでいる。</p>							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班				
事業名	ひょうご市民農園整備推進事業（平成19年度～）			連絡先	078-362-9198				
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	4,011 千円	3,218 千円	72,641 千円	72,636 千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
		補助金・交付金	3,975 千円	3,187 千円	72,610 千円	72,610 千円			
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
		その他需用費等	36 千円	31 千円	31 千円	26 千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	0 千円	0 千円	58,600 千円	58,600 千円			
		（県債）	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
		（その他[]）	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
		（一般財源）	(4,011千円)	(3,218千円)	(14,041千円)	(14,036千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,633 千円	2,711 千円	2,662 千円	2,671 千円			
		職員給与費 a	2,318 千円	2,352 千円	2,303 千円	2,312 千円			
		賞与引当金繰入額 b	137 千円	164 千円	164 千円	164 千円			
退職手当引当金繰入額 c		178 千円	195 千円	195 千円	195 千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
		6,644 千円	5,929 千円	75,303 千円	75,307 千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	登録市民農園数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI））	目 標	10	10	10	10	10		
		実績（見込）	10	13	(10)	(10)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	(664 千円)	(456 千円)	(7,530 千円)	(7,531 千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	100.0%	130.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	楽農生活交流人口(万人) （ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標)）	目 標	1,130	1,135	1,140	1,145	1,200		
		実績（見込）	1,118	1,187	(1,140)	(1,145)	【37年度】		
		（単位当たりコスト）	(6 千円)	(5 千円)	(66 千円)	(66 千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）	(98.9%)	(104.6%)	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業体験を希望する都市部住民に対して、より身近な農業体験の実践の場として市民農園を整備することが、県民が「食」と「農」に親しむ楽農生活や都市農村交流への気運の醸成を図るうえで有効である。 ・ 多様な実施主体を対象に助成し、着実に効果を上げる中、事業コストも効率的な負担に努めている。 ・ 目標達成に向けて着実に登録農園数が増加しており、今後も効率的かつ効果的な事業展開を図っていく。 								
	3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班				
事業名	都市農村交流バス運行支援事業（平成16年度～）				連絡先	078-362-9198				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額		
	事業費①	12,470 千円		12,539 千円		15,095 千円		15,095 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	12,470 千円		12,539 千円		15,095 千円		15,095 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他需用費等	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(6,235千円)		(6,269千円)		(7,547千円)		(7,547千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他〔地域創生基金〕）	(6,235千円)		(6,270千円)		(7,548千円)		(7,548千円)	
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	
			878 千円		904 千円		888 千円		891 千円	
		職員給与費 a	773 千円		784 千円		768 千円		771 千円	
		賞与引当金繰入額 b	46 千円		55 千円		55 千円		55 千円	
退職手当引当金繰入額 c		59 千円		65 千円		65 千円		65 千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人		
		13,348 千円		13,443 千円		15,983 千円		15,986 千円		
	うち事業拡大分	-		-		-		-		
事業目的の達成度を示す指標	楽農生活交流人口(万人) (ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		目標		1,130	1,135	1,140	1,145	1,200		
		実績(見込)		1,118	1,187	(1,140)	(1,145)	【37年度】		
		(単位当たりコスト)		(12 千円)	(11 千円)	(14 千円)	(14 千円)			
		うち事業拡大分		-	-	-	-			
	達成率(見込)		98.9%	104.6%	(100.0%)	(100.0%)				
	都市農村交流バス乗車人数(人) (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目標		12,500	12,500	12,500	12,500	12,500		
		実績(見込)		12,933	12,866	(12,500)	(12,500)	【毎年度】		
		(単位当たりコスト)		(1 千円)	(1 千円)	(1 千円)	(1 千円)			
		うち事業拡大分		-	-	-	-			
達成率(見込)			(103.5%)	(102.9%)	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民が暮らしの中で食と「農」に親しみ、収穫の喜びや自然とのふれあいを通じて、ゆとりとやすらぎを実感できる「楽農生活」を推進するため、農村部と都市部との相互交流の推進が必要である。 ・ 平成29年度の楽農生活交流人口は目標値を大きく上回っており、楽農生活実践者の裾野の拡大が進んでいる。 ・ 平成29年度から小中学校の教育活動における農林漁業体験でのバス利用を支援対象に追加するなど、都市農村交流の更なる推進を図っている。30年度からは乗車人数を目標値に設定し、交流人口の一層の拡大に取り組んでいる。 ・ 単位当たりコストも概ね一定であり、効率的かつ効果的な事業執行に取り組んでいる。 									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」	所管課班	総合農政課楽農生活楽農生活班
事業名	地域楽農生活センター開設支援事業（平成31年度～）	連絡先	078-362-9198

事業に要するコスト	区分		28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額	
	事業費①			—	—	—	12,156 千円
経費内訳	報酬・賃金	—	—	—	0 千円		
		委託料	—	—	0 千円		
		補助金・交付金	—	—	12,000 千円		
		貸付金	—	—	0 千円		
		その他需用費等	—	—	156 千円		
		（財源内訳）					
	（国庫支出金）		—	—	—	6,078 千円	
	（県債）		—	—	—	0 千円	
	（その他[地域創生基金]）		—	—	—	6,078 千円	
	（一般財源）		—	—	—	(0千円)	
人件費②（a+b+c）		従事人員	—	従事人員	—	従事人員	0.3人
		—	—	—	2,671 千円		
職員給与費 a		—	—	—	2,312 千円		
賞与引当金繰入額 b		—	—	—	164 千円		
退職手当引当金繰入額 c		—	—	—	195 千円		
総コスト（①+②）		従事人員	—	従事人員	—	従事人員	0.3人
		—	—	—	14,827 千円		
[うち事業拡大分]		—	—	—	—		

事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
	楽農生活交流人口(万人) (ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	目標	—	—	—	1,145	1,200
実績(見込)		—	—	—	(1,145)	【37年度】	
(単位当たりコスト)		—	—	—	(13 千円)	/	
[うち事業拡大分]		—	—	—	—		
達成率(見込)		—	—	—	(100.0%)		
地域楽農生活センター開設箇所数(事業実施計画数)		目標	—	—	—		4
実績(見込)		—	—	—	—	(4)	【34年度】
(単位当たりコスト)		—	—	—	—	(3,707 千円)	/
[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率(見込)	—	—	—	—	(100.0%)		

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽農生活に係る情報発信、農業体験や野菜栽培講座の開催等の「農」の学びや体験の場の展開を支援することにより、楽農生活の一層の推進を図る上で有効である。 ・ 地域楽農生活センター開設者にも応分負担を求めており、事業コストは適正である。
----	--

3年目の見直し	—
---------	---

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班			
事業名	世界にはばたけ兵庫プロジェクト（平成19年度～）			連絡先	078-362-9446			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	180,982 千円	180,594 千円	180,548 千円	180,548 千円			
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料						
		補助金・交付金	180,982 千円	180,594 千円	180,548 千円	180,548 千円		
		貸付金						
		その他需用費等						
	（財源内訳）	（国庫支出金）						
		（県債）						
		（その他[]）						
		（一般財源）	(180,982千円)	(180,594千円)	(180,548千円)	(180,548千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人		
			3,511 千円	3,616 千円	3,549 千円	3,563 千円		
		職員給与費 a	3,091 千円	3,137 千円	3,070 千円	3,084 千円		
		賞与引当金繰入額 b	182 千円	218 千円	218 千円	218 千円		
退職手当引当金繰入額 c		238 千円	261 千円	261 千円	261 千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人			
		184,493 千円	184,210 千円	184,097 千円	184,111 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
			国民体育大会天皇杯順位（男女総合成績）	目 標	8	8		8
	（スポーツ推進計画）	実績（見込）	11	12	10	(8)		
		（単位当たりコスト）						
		[うち事業拡大分]						
		達成率（見込）	(72.7%)	(66.7%)	(80.0%)	(100.0%)		
	ジュニアスポーツ教室参加者数の増加	目 標	6,500	6,600	6,700	6,800		
		実績（見込）	7,524	7,536	(7,500)	(7,500)		
	（スポーツ推進計画）	（単位当たりコスト）	(25 千円)	(24 千円)	(25 千円)	(25 千円)		
		[うち事業拡大分]						
達成率（見込）		(115.8%)	(114.2%)	(111.9%)	(110.3%)			
評価	国民体育大会の男女総合成績及び女子総合成績は目標の8位を達成できなかったが、天皇杯では昨年の12位から2つ順位をあげ10位、また皇后杯では昨年と同様の9位（8位まで1点差）と継続的な選手強化の成果は出ている。またジュニアスポーツ等の教室参加者数は、年度目標を達成を果たしている。 引き続き、（公財）兵庫県体育協会及び競技団体と連携のもと、選手強化・育成、指導者養成に努める。							
	3年目の見直し							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 神戸マラソン 実行委員会事務局			
事業名	神戸マラソンの開催(平成23年度～)		連絡先	078-325-1430			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	67,800 千円	67,800 千円	67,800 千円	68,883 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	9,345 千円	9,345 千円	9,345 千円	9,345 千円	
		委託料	58,455 千円	58,455 千円	58,455 千円	58,455 千円	
		補助金・交付金					
		貸付金					
		その他需用費等				1,083 千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)					
		(県債)					
		(その他[])					
		(一般財源)	(67,800千円)	(67,800千円)	(67,800千円)	(68,883千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	8.0人	従事人員	8.0人	従事人員	8.0人
			70,192 千円	72,296 千円	70,968 千円	71,232 千円	
職員給与費 a		61,808 千円	62,728 千円	61,400 千円	61,664 千円		
賞与引当金繰入額 b		3,640 千円	4,360 千円	4,360 千円	4,360 千円		
退職手当引当金繰入額 c		4,744 千円	5,208 千円	5,208 千円	5,208 千円		
総コスト (①+②)	従事人員	8.0人	従事人員	8.0人	従事人員	8.0人	
		137,992 千円	140,096 千円	138,768 千円	140,115 千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
			ランナーエントリー者数	目標	20,000	20,000	
		実績(見込)	75,097	74,616	(74,851)	(74,900)	/
		(単位当たりコスト)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	
		[うち事業拡大分]					
		達成率(見込)	375.5%	373.1%	(374.3%)	(374.5%)	
	ボランティア参加者数	目標	7,500	7,500	7,200	7,200	/
		実績(見込)	7,264	7,071	(6,808)	(7,200)	
		(単位当たりコスト)	(19千円)	(20千円)	(20千円)	(19千円)	
		[うち事業拡大分]					
	達成率(見込)	96.9%	94.3%	(94.6%)	(100.0%)		
評価	<p>・事業目的の達成度を示す指標を概ね達成できている。</p> <p>・ボランティア参加者数については、平成30年度に目標数を見直した。参加者数は減少しているが、毎年ボランティアとして参加している方(リピーター)が増加しており、ボランティアのノウハウが向上したため、余分にボランティアを配置する必要がなくなり、適正数の配置が可能となってきている。</p>						
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班				
事業名	「関西マスターズスポーツフェスティバル」開催事業（平成26年度～）			連絡先	078-362-9446				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	7,476千円	7,476千円	7,263千円	7,783千円				
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料	5,874千円	5,874千円	5,716千円	6,236千円			
		補助金・交付金							
		貸付金							
		その他需用費等	1,602千円	1,602千円	1,547千円	1,547千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(7,476千円)	(7,476千円)	(7,263千円)	(7,783千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,633千円	2,713千円	2,663千円	2,673千円			
		職員給与費 a	2,318千円	2,353千円	2,303千円	2,313千円			
		賞与引当金繰入額 b	137千円	164千円	164千円	164千円			
退職手当引当金繰入額 c		178千円	196千円	196千円	196千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
		10,109千円	10,189千円	9,926千円	10,456千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[530千円]				
事業目的の達成度を示す指標	「関西マスターズスポーツフェスティバル」の大会数	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		目 標	65	70	75	80			
		実績（見込）	65	66	(63)	(80)			
		（単位当たりコスト）	(156千円)	(154千円)	(158千円)	(131千円)			
	[うち事業拡大分]								
	達成率（見込）	100.0%	94.3%	(84.0%)	(100.0%)				
	「関西マスターズスポーツフェスティバル」の競技者・参加者数	目 標	16,500	17,700	18,800	19,900			
		実績（見込）	16,467	15,212	(14,500)	(19,900)			
達成率（見込）		99.8%	85.9%	(77.1%)	(100.0%)				
評価	<p>・一般県民に対し生涯スポーツに親しむ機会を数多く提供するとともに、本県開催競技の周知に向けた広報活動を展開するなど「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に向けた機運醸成を図るのに有効である。</p> <p>・「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の各府県市開催競技が平成28年度に決定したことに伴い、ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会が行う広報と連携し、本県開催競技を中心とした関西マスターズスポーツフェスティバルの広報を行うことで、更なる県民のスポーツ参加機会の増大を図るなど事業の効率化を図る。</p> <p>・大会数、参加者数は、悪天候等による大会中止があり、目標をやや達成できなかった。今後も引き続き、本事業の広報を積極的に行い、参加者数の増加につなげる。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班			
事業名	ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業（H30～）			連絡先	078-362-9446			
事業に要するコスト	区 分		28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①				15,000 千円	15,000 千円		
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料						
		補助金・交付金			15,000 千円	15,000 千円		
		貸付金						
		その他需用費等						
	（財源内訳）	（国庫支出金）						
		（県債）						
		（その他〔特定財源〕）			(15,000千円)	(15,000千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員		従事人員		従事人員	0.3人	従事人員
		0 千円	0 千円	2,662 千円	2,671 千円			
職員給与費 a					2,303 千円	2,312 千円		
賞与引当金繰入額 b					164 千円	164 千円		
退職手当引当金繰入額 c					195 千円	195 千円		
総コスト（①+②）	従事人員		従事人員		従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			0 千円	0 千円	17,662 千円	17,671 千円		
	[うち事業拡大部分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	地域企業及び大学とSC21との連携チームやWMG2021関西大会開催団体競技の新チーム等の設立数	目 標				75	100	100
		実績（見込）				(50)	(100)	
		(単位当たりコスト)				(353 千円)	(177 千円)	
		[うち事業拡大部分]						
	達成率（見込）				(66.7%)	(100.0%)		
	[うち事業拡大部分]	目 標						
		実績（見込）						
(単位当たりコスト)								
[うち事業拡大部分]								
達成率（見込）								
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を通じて、ワールドマスターズゲームズ2021関西への県民の参加促進及び、大会の認知度向上を図る。 ・本事業の認知度がまだまだ低いため、さらなる参加促進に向け、積極的な広報を図るなど各クラブへの周知を徹底する。 							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	スポーツ振興課 国際広域スポーツ班			
事業名	東京オリンピック・パラリンピック応援事業 (H27年度～)			連絡先	078-362-9412			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	2,242 千円	9,855 千円	10,379 千円	17,536 千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		委託料	468 千円	9,175 千円	9,487 千円	12,716 千円		
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	1,774 千円	680 千円	892 千円	4,820 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[])	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(2,242千円)	(9,855千円)	(10,379千円)	(17,536千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.4人	0.4人	0.8人	1.2人		
			3,511 千円	3,616 千円	7,097 千円	10,686 千円		
		職員給与費 a	3,091 千円	3,137 千円	6,140 千円	9,250 千円		
賞与引当金繰入額 b		182 千円	218 千円	436 千円	654 千円			
退職手当引当金繰入額 c		238 千円	261 千円	521 千円	782 千円			
総コスト (①+②) [うち事業拡大分]	従事人員	0.4人	0.4人	0.8人	1.2人			
		5,753 千円	13,471 千円	17,476 千円	28,222 千円			
		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[10,746千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【2020年度】	
		県内施設を活用した事前合宿実施に向けた視察受入国(チーム)数	目標		4	8	10	10カ国
		実績(見込)		4	(8)	(9)		
		(単位当たりコスト)		(3,368 千円)	(2,185 千円)	(3,136 千円)		
		[うち事業拡大分]						
		達成率(見込)		100.0%	(100.0%)	(90.0%)		
	事前合宿時に実施した交流事業の参加人数	目標			200	2,000	2,000人	
		実績(見込)			(200)	(2,000)		
		(単位当たりコスト)			(87 千円)	(14 千円)		
		[うち事業拡大分]						
	達成率(見込)			(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>・国際レベルのアスリートが参加する大会や合宿は、県のスポーツ振興や地域の活性化などの成果を上げるとともに、その活力を翌年のワールドマスターズゲーム2021関西の成功につなげるため、本事業は有効である。</p> <p>・県内市町の競技施設や宿泊・観光施設等を5カ国語(日・英・仏・中・ポルトガル語)で紹介したホームページやパンフレットを有効に活用し、県、市町の姉妹・友好連携州・都市等への働きかけや本県ゆかりのアスリートやスポーツ有識者を通じた効果的、効率的な招致活動を展開する。</p> <p>・関東圏を中心に、事前合宿招致に取り組んでおり全国各地の自治体が競合状態になっていることに加え、国や競技種目によって合宿の検討を開始する時期は様々であることから、締結時期等を見込むのは困難であるが、本県の優位性を積極的にPRし、早期の事前合宿協定締結の実現に努める。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班			
事業名	未来のスーパーアスリート支援事業（平成26年度～）				連絡先	078-362-9446			
事業に要するコスト	区 分		28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①		45,500 千円	45,500 千円	45,500 千円	45,500 千円			
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料							
		補助金・交付金	45,500 千円	45,500 千円	45,500 千円	45,500 千円			
		貸付金							
		その他需用費等							
	(財源内訳)	(国庫支出金)							
		(県債)							
		(その他[])							
		(一般財源)	(45,500千円)	(45,500千円)	(45,500千円)	(45,500千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人
			3,511 千円		3,616 千円		3,549 千円		3,563 千円
職員給与費 a		3,091 千円		3,137 千円		3,070 千円		3,084 千円	
賞与引当金繰入額 b		182 千円		218 千円		218 千円		218 千円	
退職手当引当金繰入額 c		238 千円		261 千円		261 千円		261 千円	
総コスト (①+②)	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	
		49,011 千円		49,116 千円		49,049 千円		49,063 千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	国内外で活躍する本県選手数(オリンピック等国際大会の出場者及び全日本選手権等全国大会の優勝・準優勝者) (スポーツ推進計画)	目 標		500	520	540	560	平成33年度	
		実績(見込)		415	400	(481)	(560)	600人	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]		(118 千円)	(123 千円)	(102 千円)	(88 千円)		
達成率(見込)			83.0%	76.9%	(89.1%)	(100.0%)			
評価	対象選手の、オリンピックや世界選手権等の国際大会に向けた強化計画も具体化しており全国大会等での成績も安定している。リオデジャネイロオリンピックには全体で337名の選手が出場したが、そのうち、本県ゆかりの選手が23名と約7%を占めている。今後もオリンピック選手輩出につながる選手育成に努める。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班			
事業名	ひょうご女性スポーツの会（平成30年度～）			連絡先	078-362-9446			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①			2,000 千円	5,000 千円			
	経費内訳	報酬・賃金			310 千円			
		委託料						
		補助金・交付金				5,000 千円		
		貸付金						
		その他需用費等			1,690 千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）						
		（県債）						
		（その他[]）						
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(2,000千円)	(5,000千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員
		0 千円		0 千円		3,549 千円		3,563 千円
職員給与費 a				3,070 千円	3,084 千円			
賞与引当金繰入額 b				218 千円	218 千円			
退職手当引当金繰入額 c				261 千円	261 千円			
総コスト（①+②）	従事人員		従事人員		従事人員	0.4人	従事人員	0.4人
		0 千円		0 千円		5,549 千円		8,563 千円
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[3,014千円]
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	ひょうご女性スポーツの会 加盟団体数	目標			13	14	平成33年度	
		実績（見込）			(13)	(14)	16団体	
		（単位当たりコスト）			(427 千円)	(612 千円)		
[うち事業拡大分]								
	達成率（見込）			(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>平成30年12月15日にひょうご女性スポーツの会が設立した。今後は以下の3事業に取り組みながら、加盟団体数や会員数の増加を図る。</p> <p>①スポーツにおける女性特有の課題解決に向けた取り組みとしての研修会の開催</p> <p>②「ひょうご女性スポーツの会」冠称大会としての各競技別大会の実施</p> <p>③ワールドマスターズゲームズ2021関西等への女性参加促進に向けて競技横断的な競技体験会の実施</p>							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	社会教育課施設・管理班			
事業名	県立美術館の元気づくり事業（平成19年度～）		連絡先	078-362-9434			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	7,730千円	7,492千円	7,280千円	7,280千円		
	経費内訳	報酬・賃金					
		委託料					
		補助金・交付金					
		貸付金					
		その他需用費等	7,730千円	7,492千円	7,280千円	7,280千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）					
		（県債）					
		（その他〔美術館使用料等〕）	(5,570千円)	(5,570千円)	(5,570千円)	(5,570千円)	
		（一般財源）	(2,160千円)	(1,922千円)	(1,710千円)	(1,710千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,633千円	2,711千円	2,662千円	2,671千円	
		職員給与費 a	2,318千円	2,352千円	2,303千円	2,312千円	
		賞与引当金繰入額 b	137千円	164千円	164千円	164千円	
退職手当引当金繰入額 c		178千円	195千円	195千円	195千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
		10,363千円	10,203千円	9,942千円	9,951千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
		目 標	400	400	400	400	400
	KEN-VI文化セミナー入場者数	実績（見込）	391	733	(854)	(400)	
		（単位当たりコスト）	(27千円)	(14千円)	(12千円)	(25千円)	
		[うち事業拡大分]					
		達成率（見込）	97.8%	183.3%	(213.5%)	(100.0%)	
	学校関係団体等の入場者数	目 標	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
		実績（見込）	11,312	13,373	(13,538)	(13,000)	
		（単位当たりコスト）	(1千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		[うち事業拡大分]					
達成率（見込）	87.0%	102.9%	(104.1%)	(100.0%)			
評価	「KEN-VI文化セミナー」「学校関係団体等」の入場者数は徐々に増加しており、事業実施効果が高くなっている。引き続き、子どもたちや美術に関心の薄い層に美術に親しむ機会をつくることにより、将来的に芸術文化に興味を持ってもらえるようにすることを重要視し、目標の達成に向けて継続的に取り組んでいく。						
	3年目の見直し	—					

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	社会教育課施設・管理班				
事業名	篠山層群化石を活用した地域活性化の推進（平成18年度～）			連絡先	078-362-9434				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	4,105千円	19,130千円	18,550千円	18,550千円				
	経費内訳	報酬・賃金		14,408千円	14,340千円	14,340千円			
		委託料							
		補助金・交付金							
		貸付金							
		その他需用費等	4,105千円	4,722千円	4,210千円	4,210千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）							
		（県債）							
		（その他[]）							
		（一般財源）	(4,105千円)	(19,130千円)	(18,550千円)	(18,550千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
			878千円	904千円	888千円	891千円			
		職員給与費 a	773千円	784千円	768千円	771千円			
		賞与引当金繰入額 b	46千円	55千円	55千円	55千円			
退職手当引当金繰入額 c		59千円	65千円	65千円	65千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	
		4,983千円	20,034千円	19,438千円	19,441千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	ボランティア人材の登録数（活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標における指標）	目標	—	15	33	50	合計100名【2026年度】		
		実績（見込）	—	26	(56)	(73)			
		達成率（見込）	—	173.3%	169.7%	146.0%			
評価	<p>・化石の剖出作業には熟練した技術が必要であり、篠山層群化石の調査・研究を推進していくためには、更なる人材の育成が不可欠となっている。また、事業の活性化を図る上で、ボランティアの参画は重要であるが、育成・活用する仕組みがさらに重要であり、今後もこれらの仕組みの構築を目指していく。</p> <p>・予想を上回るボランティアの登録があり順調ではあるが、化石の剖出にあたっては、人材育成には多くの時間がかかるため、研修システムの見直しを図るなど効率的で安定した事業を推進していく。</p> <p>・今後も篠山層群化石の調査研究とともに活用を進めるには、ボランティア人材の参画が不可欠であることから、登録者数を指標とすることで、ボランティア人材を安定的に育成・活用できる体制づくりを構築する。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	個性を生かした地域の自立と地域間連携元気を生み出す		所管課班	文化財課文化財班				
施策名	地域の歴史・文化、伝統芸能などの継承と情報発信の推進							
事業名	ひょうごの歴史研究推進(平成27年度～)		連絡先	078-362-3784				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	11,688千円	11,288千円	11,763千円	11,763千円			
	経費内訳	報酬・賃金	7,257千円	7,270千円	7,168千円	7,186千円		
		委託料						
		補助金・交付金	220千円	220千円	700千円	220千円		
		貸付金						
		その他需用費等	4,211千円	3,798千円	3,895千円	4,357千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)						
		(県債)						
		(その他[])						
		(一般財源)	(11,688千円)	(11,288千円)	(11,763千円)	(11,763千円)		
	人件費②(a+b+c)	従事人員	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人		
			7,019千円	7,230千円	7,097千円	7,123千円		
	職員給与費 a	6,181千円	6,273千円	6,140千円	6,166千円			
賞与引当金繰入額 b	364千円	436千円	436千円	436千円				
退職手当引当金繰入額 c	474千円	521千円	521千円	521千円				
総コスト(①+②)	従事人員	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人			
		18,707千円	18,518千円	18,860千円	18,886千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[475千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		公開講座等の参加のべ人数	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績(見込)		542	680	(800)	(1,000)	
		(単位当たりコスト)		(35千円)	(27千円)	(24千円)	(19千円)	
	[うち事業拡大分]							
	達成率(見込)		54.2%	68.0%	(80.0%)	(100.0%)		
	「次回も公開講座に参加したい」と回答した参加者の割合	目標	80%	80%	80%	80%		
		実績(見込)		78%	80%	80%	80%	
		(単位当たりコスト)		(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		[うち事業拡大分]						
達成率(見込)		97.5%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>・播磨地域だけでなく、活動対象を淡路にまで広げ、広域的な調査研究を展開すると共に、淡路島日本遺産委員会と連携することで地域振興、観光振興に活用することができている。</p> <p>・これまで同様、歴史博物館、考古博物館のほか、大学の研究者、市町文化財担当者に調査研究を委嘱することで事業コストの削減を図ってきたが、今年度はさらに島根県と連携することで、さらに広域的な事業を効率的に行うことができています。</p> <p>・公開講座等への参加のべ人数は徐々に増加しており、内容も好評で、南あわじ市や宍粟市などの地方での実施により、地域に根ざした調査研究の公開と、地域文化遺産の見直しに貢献することができた。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	文化財課文化財班			
事業名	松帆銅鐸等埋蔵文化財を活用した地域振興への積極的支援			連絡先	078-362-3784			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	6,172 千円	6,844 千円	5,996 千円				
	経費内訳	報酬・賃金			1,685 千円			
		委託料	2,432 千円	3,344 千円	2,455 千円			
		補助金・交付金	3,500 千円	3,500 千円	1,750 千円			
		貸付金						
		その他需用費等	240 千円		106 千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(1,000千円)	(1,672千円)	(2,123千円)			
		(県債)						
		(その他[])						
		(一般財源)	(5,172千円)	(5,172千円)	(3,873千円)	(0千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員		
			878 千円	904 千円	888 千円	0 千円		
		職員給与費 a	773 千円	784 千円	768 千円			
		賞与引当金繰入額 b	46 千円	55 千円	55 千円			
退職手当引当金繰入額 c		59 千円	65 千円	65 千円				
総コスト (①+②)	従事人員	0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員			
		7,050 千円	7,748 千円	6,884 千円	0 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名 博物館の入場者のべ人数	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		目標	1,000	1,000	1,000	—		
		実績(見込)	3,258	2,974	(3,000)	—		
		(単位当たりコスト)	(2 千円)	(3 千円)	(2 千円)	#VALUE!		
		[うち事業拡大分]						
達成率(見込)	325.8%	297.4%	(300.0%)	#VALUE!				
評価	<ul style="list-style-type: none"> 松帆銅鐸の出土地域の特定が進むとともに、銅鐸が製作された時期が判明するなどしており、着実にその価値は高まりつつある。 研究成果等の発表により、広くその情報が全国に発信されている。 現在銅鐸は研究機関で調査中であり、レプリカの展示となっているが、その人気は安定しており、今後実物を展示することにより、更なる入場者が期待でき、地域振興にも繋がっていくと考えられる。 							
	3年目の見直し	—						